

## BackOnTrack の基本操作

コンピューターのどこかに保存されているあなたの人生の一部について考えてみてください: 家族の写真、ビデオ、選りすぐりの音楽のコレクション、税金や仕事の記録、住所録、電子メールのアーカイブ、ブログの投稿、学校のプロジェクト、そして、まだ出版していない小説まで。

Roxio のバックアップ スイートは、大切なデータを保護するために作られています。[ワンクリック バックアップ](#) または [高度なバックアップ](#) を使用することにより、大切なコンピューター ファイルが守られているという安心感を持つことができます。

そして BackOnTrack のパワフルな [システム ロールバック](#) ツールは、Windows オペレーティング システムが起動しない、またはアプリケーションが正常に機能しない場合、簡単にコンピューターを稼働状態に戻すことができます。

---

### ページのトップへ

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## FAQ(よくある質問)

BackOnTrack を最大限に活用する上で役立ててほしい質問に対する回答を掲載しています。

### ハードドライブとドライブ パーティションの違いは？

ハードドライブ(ハードディスクとも呼ばれる)は、コンピューターのデータがすべて保存されている場所です。通常、ドライブ文字 **C:** で表されます。1 台のハードドライブを分割し、複数に分割されたハードドライブとしてコンピューターに認識させることができます。このように分割された各領域をパーティションと呼びます。パーティションには、それぞれドライブ文字が割り当てられます。

ほとんどの場合、オペレーティング システムは、ハードドライブの **C:** パーティションにインストールされています。

### ハードドライブの使用可能なスペースはどうやったらわかりますか？

Windows のスタート メニューを開き、**コンピューター**(Windows 7、または Vista)、または**マイ コンピュータ**(Windows XP)をクリックします。使用可能なディスク スペースが表示されます。

### 誤って削除してしまったファイルを復元するには？

**リストア** タブを選択し、次に **マイ データ** をクリックして、ファイルをリストアします。アシスタントを使用して、ソースを選択します。コンテンツ ページが表示されたら、長方形のボックスをダブルクリックします。バックアップ済みのファイルまでナビゲートして、その隣にあるボックスを選択し、**OK** をクリックします。オンラインのガイドに従って、ファイルを復元します。

### バックアップはどこに保存したら良いのですか？

使用可能なハードウェアの種類と実行しているバックアップの種類によって異なります。バックアップは外付けハードドライブに保存することをおすすめします。ディスク、または外部 USB オプティカルドライブにバックアップを保存することもできます。

### 外付けハードドライブとは何ですか？

外付けハードドライブは自己完結型ドライブで、コンピューターの外側に取り付けます。ポータブルで、共有できます。大容量で低価格のため、外付けハードドライブはバックアップ デバイスとして人気が高まっています。USB や FireWire (IEEE 1394 と i.Lin) の外付けドライブはバックアップやリストア作業をサポートしています。

外付けハードドライブにシステム バックアップ、またはコンピューター全体のバックアップを保存する前にコンピューターの BIOS をアップデートしてください。BIOS (ベーシック インプット/アウトプット システム) をアップグレードすることにより、ファイルを復元する必要がある場合、外付けドライブを確実に検出できるようになります。ほとんどの場合、BIOS アップグレードの方法はコンピューターのメーカーのウェブサイトに記載されています。

### コンピューターのファイル システムはどうやったらわかりますか？

ハードドライブはファイル キャビネットに似ています。どちらの場合も中に収めた情報を追跡 (整理整頓) する方法が必要です。キャビネットの場合、ファイルを内容でグループ分けするか、アルファベット順に並べることができます。ハードドライブの情報を追跡 (整理) するファイル システムの場合は、キャビネットよりやや複雑ですが、目的は同じです。必要な情報を素早くコンピューターに検索させることです。

[コンピューター全体のリストア] は、Windows ベースのコンピューターで幅広く使用されているファイル システムをサポートしています: FAT16、FAT32、NTFS、および exFAT

FAT16、FAT32、または exFAT パーティションを新しい大容量のハードドライブに復元した場合、リストア プロジェクトが完了しても、ハードドライブの空き領域は自動的に使用できるようにはなりませんので、注意してください。サードパーティのツールを使用して新たに復元したパーティションを拡張するか、Windows ディスク管理ツールで新しいドライブの未割り当て領域からパーティションを作成してください。

コンピューター上のハードドライブのファイル システムを決定するには:

- 1 **マイ コンピューター**(XP) / **コンピューター**(Vista および Windows 7)を開きます。
- 2 一覧に表示されたハードドライブを選択し、名称を右クリックします。

3 ショートカット メニューから**プロパティ**を選択します。

ドライブ パーティション ウィンドウが開きます。ファイル システムが全般タブに表示されます。

 [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

BackOnTrack

## ワンクリック バックアップ

ワンクリック バックアップは、シンプルで信頼性の高い方法で、コンピューターのルーティン バックアップをスケジュール設定し、実行すると同時に、オペレーティング システムやアプリケーションを保護します。ディスクやハードドライブ、ストレージ デバイスを使用し、個別ファイルからコンピューターのコンテンツ全体まで、あらゆる項目を簡単操作でバックアップできます。ワンクリック バックアップ は、一度だけ、毎日、毎週、あるいは毎月実行するようスケジュール設定できます。

以下のリンクをクリックして開始します。

- [マイ データ バックアップ](#)
- [コンピューター全体のバックアップ](#)
- [システム ロールバック](#)

[▲ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## マイ データ バックアップ

マイ データを使用して、個別のファイル、フォルダー、ファイルのカテゴリをバックアップします。たとえば、週に一度、電子メールや仕事のファイルを外部ハードドライブにバックアップするマイ データ バックアップを作成することができます。または、スピーディにオーディオ ファイルとビデオ ファイルをフラッシュドライブに保存するバックアップを作成することもできます。

マイ データ バックアップを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1 **ワンクリック バックアップ** をクリックします。
- 2 マイ データ というラベルのついたエリアで、**設定** をクリックします。
- 3 保存先を選択します。保存先は、ディスクドライブ、フラッシュドライブ、内部、または外付けハードドライブのいずれかです。
- 4 バックアップするファイルの種類を選択します。使用可能なカテゴリは、電子メール、ドキュメント、ピクチャ、ビデオ、そしてミュージックです。
- 5 選択したカテゴリに含まれない個別のファイル、またはフォルダーを追加するには、**フォルダーの追加**、または**ファイルの追加** ボタンをクリックして、ハードドライブを参照します。

**ヒント:** リストからファイル、またはフォルダーを削除するには、対象のファイル、またはフォルダーを選択し、**削除** をクリックします。

- 6 頻度ドロップダウン メニューを使用して、バックアップをスケジュール設定します。選択肢は、一回だけ、毎日、毎週、毎月のいずれかです。

オプション ディスクをバックアップする場合、バックアップ リマインダー通知が送信されます。リマインダー通知を無効にするには、**今回のみ実行** を選択します。

その他のバックアップ保存先については、バックアップはスケジュール設定した通りに実行されます。[一回のみ実行] を選択した場合、バックアップはスケジュールされません。

- 7 バックアップ設定を保存するには、**設定を保存** をクリックします。
- 8 マイ データ エリアで**今すぐ実行** をクリックして、選択した設定によるバックアップをすぐに開始します。

以下も参照してください:

- [マイ データ バックアップ使用のヒント](#)
- [コンピューター全体のバックアップ](#)
- [マイ データ バックアップ \(高度\)](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

## マイ データ バックアップ使用のヒント

マイ データ バックアップ タスクを使用する場合、以下のヒントを参考にしてください。

- ワンクリック バックアップのマイ データ バックアップでは、バックアップを 1 件しか作成できません。複数のバックアップ プロジェクトをスケジュール設定する場合は、高度なバックアップ を使用します。
- 電子メール カテゴリを選択すると、コンピューターのユーザー アカウント内にある拡張子が .pst や .dbx などの特定のファイルがバックアップされます。その他のカテゴリは、拡張子 (Windows XP および Vista)、または現在のユーザーの Windows フォルダーか一般的にファイルを保存するライブラリ (Windows 7) ですべてのユーザーのファイルを検索します。詳細については、[各カテゴリに含まれる項目](#)を参照してください。
- **今すぐ実行**をクリックすると、任意の時にバックアップ スケジュールをオーバーライドできます。

---

### [▲ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## コンピューター全体のバックアップ

コンピューター全体のバックアップを使用すると、オペレーティング システム、アプリケーション、個人のファイルなど、コンピューターに保存されているあらゆる項目をバックアップすることができます。こうしておけば、コンピューターの紛失や盗難、またはハードドライブのクラッシュが発生した場合も安心です。

コンピューター全体のバックアップを実行する場合、別にリカバリ ディスクを作成するか、バックアップの一部として作成するかを選択します。[リカバリ ディスク](#)は、ハードドライブの故障の後、コンピューターを起動させるのに必要です。

**注意:** ハードドライブがクラッシュした場合、このヘルプ ファイルにアクセスできない可能性があります。ハードドライブの不具合が発生した場合に備えて、システムを復元する方法を説明したヘルプ トピックをプリントアウトしておくことをおすすめします。

コンピューター全体のバックアップを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1 **ワンクリック バックアップ** をクリックします。
- 2 「コンピューター全体」というラベルのついたエリアで **[設定]** をクリックします。
- 3 バックアップ先を選択してください。
- 4 バックアップの保存先が光学 ディスクの場合、バックアップ、またはリマインダーをスケジュール設定してください。バックアップをスケジュール設定したくない、またはリマインダーが必要ない場合、**今回のみ実行**を選択します。
- 5 **設定を保存** をクリックします。
- 6 今すぐコンピューター全体をバックアップするには、**今すぐ実行** をクリックします。

以下も参照してください:

- [コンピューター全体のバックアップ使用のヒント](#)
- [マイ データ バックアップ](#)

[▶ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

## コンピューター全体のバックアップ使用のヒント

コンピューター全体をバックアップする場合、以下のヒントを参考にしてください。

- バックアップの保存先で最適なのは、コンピューターに接続した[外付けハードドライブ](#)です。ディスク、またはフラッシュドライブを使用することもできます。
- バックアップに使用したディスクは、一度記録すると**クローズド**になります。ライトワンスのディスクを使用した場合、追加データを追加できません。
- バックアップが進行している間も、コンピューターで作業を続けることはできます。ただし、最適な結果を出すには、開いているアプリケーションを可能な限り少なくし、バックアップ中のドライブにファイルを保存しないようにしてください。
- FAT16 ファイル システムでフォーマットしたハードドライブに保存されたファイルは、2 GB 以下にしてください。FAT32 ファイル システムでフォーマットしたハードドライブに保存されたファイルは、4 GB 以下にします。バックアップがこの制限を超えた(圧縮後)場合、自動的に複数のファイルに分割されます。
- パーティションにデータが含まれていない場合でも、バックアップのパーティションごとにメディアが 1 枚必要です。
- **今すぐ実行**をクリックすると、任意の時にバックアップ スケジュールをオーバーライドできます。
- 旧バージョンの BackOnTrack で作成したコンピューター全体のバックアップは、同じバージョンで作成した起動ディスクがあれば、リストアできます。

### [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**



## システム ロールバック

システム ロールバックを使用すれば、個人ファイルには影響を及ぼさずに、コンピューターにインストールされているソフトウェア、オペレーティング システム、レジストリを追跡し、ロールバックすることができます。時間のかかるトラブルシューティングを使わず、できる限りスピーディに、コンピューターを元の状態に戻します。現在の保存済みシステム状態を手動で作成、あるいは自動的にプログラムで状態を保存することにより、「正常な状態」を定義しておくことができます。

Windows のアップデート、または新しいソフトウェアをインストールする場合、またはウイルス スキャンを実行した後に、新しいシステム状態を作成することをおすすめします。

以下も参照してください：

- [システム ロールバックと Windows システムの復元](#)
- [システム ロールバックによるシステム データとユーザー データの処理方法](#)
- [自動的に作成された保存済み状態](#)
- [保存済み状態を手動で作成する](#)
- [システム ロールバック設定](#)
- [システム ロールバックを使用してリストアする](#)

[▶ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## システム ロールバックと Windows システムの復元

Windows オペレーティング システムには、BackOnTrackシステム ロールバックより機能が制限されたシステムの復元機能が備わっています。[システムの復元] がオフになっている状態がシステム ロールバックにとって最も望ましい動作環境です。BackOnTrack は、時々「システムの復元を無効にしますか?」というメッセージを表示します。[システムの復元] は、次の手順でも手動にオフにできます。

**注意:** ワンクリック バックアップでオン/オフ ボタンをクリックすると、システム ロールバックをオフにできますが、この場合、既存の保存済み状態まですべて削除されてしまいます。

### Windows 7 の [システムの復元] をオフにするには:

- 1 Windows の **スタート** ボタンをクリックし、**コンピューター** を右クリックします。
- 2 ショートカット メニューで**プロパティ**を選択します。
- 3 タスク一覧の **システムの保護** をクリックします。
- 4 **設定** ボタンをクリックします。
- 5 **システム保護を無効にする** を選択します。
- 6 **OK** をクリックします。

### Windows Vista の [システムの復元] をオフにするには:

- 1 Windows の **スタート** ボタンをクリックし、**コンピューター** を右クリックします。
- 2 タスク一覧の **システムの保護** をクリックします。  
[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [システムのプロパティ] ダイアログボックスの **自動復元ポイント** セクションに表示されているドライバーのチェックボックスを外します。
- 4 チェックボックスをはずすと、システムの復元を無効にして良いか確認するメッセージが表示されます。**システムの復元を無効にする** をクリックします。
- 5 操作が完了したら、[システムのプロパティ] ダイアログボックスの下部にある **OK** をクリックします。

### Windows XP の [システムの復元] をオフにするには:

- 1 **マイ コンピューター** アイコンを右クリックして、ショートカット メニューから **プロパティ** を選択します。
- 2 **システムの復元** タブをクリックします。
- 3 **システムの復元を無効にする** チェックボックスをクリックします。
- 4 **OK** をクリックします。

#### [ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

## システム ロールバックとウイルス対策アプリケーション

**注意:** システム ロールバックは、ウイルス対策ツールではありません。システム ロールバックでは、ウイルスの攻撃を防いだり、流布を止めることはできません。また、ウイルスにより個人の情報に被害を受けたり、流布するのを防ぐこともできません。専用のウイルス対策ソフトウェアを使用し、定期的にコンピューターを全面スキャンしましょう。

システム ロールバックは、コンピューターを以前の状態に戻すことによって、システム ファイル、登録情報、インストールされているアプリケーションに対するダメージを修復します。つまり、ウイルスとウイルス攻撃による影響も除去することができるのです。

### 保存済み状態を作成する前にウイルスをスキャンする

ウイルスをスキャンせずにシステム状態を作成すると、ウイルスが残ったままシステム状態を保存してしまう恐れがあります。ウイルス対策アプリケーションでウイルスを除去することもできますが、ウイルスが残ったままシステム状態を保存しているため、状態をロールバックするとウイルスも一緒にリストアされることとなります。

[▶ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## システム ロールバックによるシステム データとユーザー データの処理方法

システム状態を保存したり、システムをロールバックする場合、システム ロールバックはシステム データとユーザー データを別々に処理します。

ユーザー データは、コンピューターの機能やパフォーマンスのコントロールには影響のないファイルを指します。個人のドキュメントとは、カメラのデジタル写真、音楽、テキスト ファイル、スプレッドシートなどです。これらのファイルは、システムには悪影響はない場合がほとんどで、独自のデータなので残しておいたほうが良いでしょう。

**注意:** システム ロールバックは、誤って削除されたユーザー データ ファイルをリストアすることはできません。ファイルのバックアップがあれば、マイ データ リストアを使用してリストアすることができます。

システム データは、コンピューターの機能やパフォーマンスをコントロールする情報です。ハードウェアのドライバー、Windows のアップデート、登録情報、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、ゲームなどです。コンピューターが正常に動作しない場合、これらのデータにトラブルの原因があることがほとんどです。

[▲ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## 自動的に作成された保存済み状態

保存済みシステム状態とは、ある時点のコンピューターのオペレーティング システムやソフトウェア アプリケーションを撮影したスナップショットです。このプログラムは、週に一度、自動的に新しいシステム状態を作成するようデフォルト設定されています。つまり、しばらくの間、システム状態の保存を忘れたとしても、コンピューターをロールバックする状態を豊富な選択肢から選べるのです。また、[保存済み状態を手動で作成することもできます](#)。**復元**を選択し、[システム ロールバック] ボタンをクリックすると、保存済みのシステム状態の一覧に「自動的に作成されたシステム状態」が表示されます。詳細は、[Windows からコンピューターをロールバックする](#)を参照してください。

**注意:** ワンクリック バックアップでシステム ロールバック設定を変更して、自動的に作成されたシステム状態を 1 回以上実行するよう、スケジュール設定できます。詳細は、[システム ロールバック設定](#)を参照してください。

### ページのトップへ

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## システム ロールバック設定

システム状態を自動的に保存・削除する頻度を変更することができます。デフォルトでは、週に 1 度、システム状態を作成し、15 日前に作成したシステム状態は削除するように設定されています。

設定を変更するには:

- 1 必要に応じて、**ワンクリック バックアップ** タブをクリックします。
- 2 システム ロールバックで **設定** をクリックします。
- 3 表示された設定ウィンドウで、希望に応じて設定を変更します。

[▲ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

BackOnTrack

## 高度なバックアップ

高度なバックアップを使用すると、ステップ式で操作をガイドするオンスクリーン アシスタントによって、カスタム バックアップを作成します。スケジュール設定により、指定したタイミングでのバックアップの実行、増分（インクリメンタル）バックアップの作成、パスワード保護の追加、ファイルの圧縮などを実行します。

以下のリンクをクリックして開始します。

- [マイ データ バックアップ \(高度\)](#)
- [ディスクまたはパーティションのバックアップ \(高度\)](#)

[▲ ページのトップへ](#)

---

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## マイ データ バックアップ(高度)

マイ データ バックアップでは、個別のファイルやフォルダー、または複数のファイル カテゴリをバックアップすることができます。

高度な マイ データ バックアップを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1 高度なバックアップ をクリックします。
- 2 マイ データ というラベルのついたエリアで、**新規バックアップを作成** をクリックします。オンスクリーン アシスタントが開きます。
- 3 アシスタントを使用して、バックアップを設定します。

高度な マイ データ バックアップを編集するには、以下の手順を実行します。

- 1 高度なバックアップ をクリックします。
- 2 編集したいバックアップを選択します。バックアップの詳細が表示されます。

**ヒント:** 複数のバックアップを保存している場合、マイ データ パネルの右側にあるスクロール バーを使用します。

- 3 **変更** をクリックします。バックアップ アシスタントが開きます。
- 4 画面上に表示されるアシスタントを使用し、バックアップに必要な変更を加えてください。
- 5 バックアップ概要ページで **設定を保存** をクリックして変更箇所を保存します。

**注意:** ワンクリック バックアップ でスケジュール設定したプロジェクトは、マイ データ パネルには表示されず、高度なバックアップ では編集できません。

- 6 必要に応じて、**今すぐ実行** をクリックし、マイ データ バックアップをすぐに実行します。

以下も参照してください:

- [マイ データ バックアップ\(高度\)使用のヒント](#)
- [ディスクまたはパーティションのバックアップ\(高度\)](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。



## マイ データ バックアップ(高度)使用のヒント

高度な マイ データ バックアップを使用する場合、以下のヒントを参考にしてください。

- 選択したカテゴリーに含まれない個別ファイルとフォルダーを追加するには、**フォルダーの追加**、または**ファイルの追加**ボタンのいずれかをクリックして、ハードディスクを参照します。
- ハードディスク、またはネットワークドライブにバックアップする場合は差分バックアップを選択し、ディスクにバックアップする場合はフル バックアップを推奨します。増分バックアップはフルバックアップで開始し、選択したスケジュールによって、増分とフル バックアップの間で切り替わります。
- バックアップを暗号化した後、パスワードをなくしたり、忘れると、ファイルにアクセスすることはできません。パスワードをメモに書き留め、安全な場所に保管しておくことをおすすめします。
- バックアップを圧縮する場合、設定を「高圧縮」にすると、バックアップ ファイル サイズを最小にできます。ただし、圧縮したファイルはリストアに時間を要するので、注意してください。また、一部の種類のファイルはすでに圧縮済みです。アーカイブする圧縮量は、バックアップするファイルの種類によって異なります。
- 保存済みのバックアップを削除するには、対象となるバックアップを選択し、削除ボタンをクリックします。
- [今回のみ実行] を選択しない限り、バックアップは作成した時間と曜日に実行されます。たとえば、バックアップを月曜日の午後 3 時に作成し、毎週実行するようスケジュール設定した場合、毎週月曜日の午後 3 時に実行されるようになります。同様に、作成した時間と日付に月次バックアップが実行されます。

**注意:** 毎月31日に月度バックアップをスケジュール設定した場合、日数が31 日以下の月はバックアップがスキップされます。その月の 29 日または 30 日にスケジュールされたバックアップもスキップされる月があります。

### [ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

**ROXIO**

## ディスクまたはパーティションのバックアップ(高度)

ディスク、またはパーティションのバックアップでハードディスク、またはパーティションと呼ばれるハードディスクの一部をバックアップします。

**注意:** オペレーティング システムをバックアップする場合は、コンピューター全体、またはハードディスクのバックアップを選択することをおすすめします。

ディスク、またはパーティションのバックアップを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1 **高度なバックアップ** をクリックします。
- 2 ラベルを付けたディスクまたはパーティションのエリアで、**新規バックアップの作成** をクリックします。
- 3 リカバリ ディスクを作成していない場合、ディスクを今すぐ作成するオプションを表示するダイアログ ウィンドウが開きます。(ツール > **起動可能リカバリ ディスクを作成** を選択して、リカバリ ディスクを作成する方法もあります。)リカバリ ディスクがすでにある場合は、[手順 4](#)に進んでください。

**警告:** クラッシュの後は、リカバリ ディスクがないとコンピューターが起動しない場合があります。リカバリ ディスクの詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

- 4 バックアップのソースを選択します。パーティションのみをバックアップする場合は、パーティションを選択してください。
- 5 画面に表示されるアシスタントを使用して、バックアップを完了します。

ディスク、またはパーティションのバックアップを編集するには、以下の手順を実行します。

- 1 **高度なバックアップ** をクリックします。
- 2 編集したいバックアップを選択します。バックアップの詳細が表示されます。

**ヒント:** 複数のバックアップを保存している場合、ディスク、またはパーティション パネルの右側にあるスクロール バーを使用します。

- 3 **変更** をクリックします。オンスクリーン アシスタントが開きます。
- 4 画面上に表示されるアシスタントを使用し、バックアップに必要な変更を加えてください。
- 5 バックアップ概要ページで **設定を保存** をクリックして変更箇所を保存します。
- 6 必要に応じて、**今すぐ実行** をクリックし、バックアップをすぐに実行します。

以下も参照してください:

- [ハードドライブとドライブ パーティションの違いは？](#)
- [マイ データ バックアップ\(高度\)](#)

[▶ ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

## BackOnTrack

### 復元

[ワンクリック バックアップ](#) または [高度なバックアップ](#) を使用して保護したドライブ、ドライブ パーティション、個別ファイル、またはフォルダーを復元する場合は、「リストア」を使用します。バックアップのリストアを選択する場合、ステップ式で操作をガイドするオンスクリーン アシスタントが開きます。また、システム ロールバックを使用して、以前のシステムにコンピューターをロールバックすることもできます。

リストア プロセスを開始する前に、バックアップ ファイルにアクセスできるか確認してください。ファイルがディスクに保存されている場合、ディスクを用意してください。ファイルをローカルのドライブに保存した場合は、ドライブがあることを確認してください。

以下も参照してください：

- [マイ データ の復元](#)
- [コンピューター全体の復元](#)
- [ハードディスク、またはパーティションの復元](#)
- [システム ロールバックを使用して復元する](#)
- [BackOnTrack 3 でバックアップしたファイルを復元する](#)

[▶ ページのトップへ](#)

---

**メモ：**お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## マイ データ の復元

データのカテゴリ全体、または個別ファイルやフォルダーをリストアできます。

マイ データ バックアップのファイルを復元するには、以下の手順を実行します。

- 1 **復元** をクリックします。
- 2 **マイ データ** をクリックします。オンスクリーン アシスタントが起動します。
- 3 アシスタントに表示される指示に従って、復元するバックアップと保存先を選択してください。

以下も参照してください：

- [マイ データ リストア使用のヒント](#)

[▶ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## マイ データ 復元使用のヒント

- マイ データ バックアップだけでなく、使用可能なバックアップなら何でも、ファイルを復元するソースとして使用できます。
- データのカテゴリ全体を復元することもできます。以下のカテゴリを選択できます：電子メール、ドキュメント、ピクチャ、ビデオ、そしてミュージックです。

電子メール カテゴリを選択すると、コンピューターของผู้ใช้ アカウントに保存されている中から特定の種類のファイル(.pst や .dbx の拡張子がついたファイル)を復元します。その他のカテゴリは、通常、各ファイルが保存されている Windows フォルダーやライブラリのコンテンツをリストアします。詳細については、[各カテゴリに含まれる項目](#)を参照してください。

- リストアを使用して、いくつでもファイルやフォルダーを復元できます。
- リストアは許可なくファイルを上書きすることはありません。
- システム ファイルをコンピューターのオペレーティング システムで使用中の場合は、元の場所に復元することはできません。詳細については、[オペレーティング システムのリストア](#)を参照してください。

---

### [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## BackOnTrack 3 でバックアップしたファイルを復元する

BackOnTrack 3 でバックアップしたファイルは、本バージョンの BackOnTrack. で直接リストアすることはできません。ただし、BackOnTrack 3 プロジェクトがディスク、外部ハードディスク、またはフラッシュストレージ デバイスに保存されている場合は、ファイルのリストアは比較的シンプルな操作で実行できます。内蔵ハードディスクに保存されているバックアップについては、Roxio Restore というアプリケーションのダウンロードが必要です。[ここ](#)をクリックすると、今すぐアプリケーションをダウンロードできます。

内蔵ハードディスクからファイルをリストアするには:

- 1 過去にリストアを実行したことがない場合は、上記のリンクから Roxio Restore アプリケーションをダウンロードします。
- 2 コンピューター上の RoxioRestore.exe が保存されている場所までナビゲートします。
- 3 **RoxioRestore.exe** をダブルクリックします。  
リストア ウィンドウが表示されます。
- 4 リストアしたいファイルとフォルダーを選択します。

**ヒント:**複数のファイルを選択するには、Control キーを押したまま、リストアするファイルをクリックします。

- 5 **復元** をクリックします。  
フォルダーを参照ウィンドウが開きます。
- 6 ファイルのコピー先を選択します。  
**OK** をクリックします。

ディスクからファイルをリストアするには:

- 1 バックアップ プロジェクトが含まれるディスクを互換性のあるドライブに挿入します。  
自動再生ウィンドウが開きます。
- 2 **Run Roxio BackOnTrack** をクリックします。  
リストア ウィンドウが表示されます。
- 3 リストアしたいファイルとフォルダーを選択します。
- 4 **復元** をクリックします。  
フォルダーを参照ウィンドウが開きます。
- 5 ファイルのコピー先を選択します。
- 6 **OK** をクリックします。

外部ハードディスク、またはフラッシュ ストレージ デバイスからファイルをリストアするには:

- 1 ハードディスク、またはストレージ デバイスをコンピューターに接続します。
- 2 バックアップ プロジェクトを開きます。
- 3 **Roxio Restore** フォルダーを開きます。
- 4 **RoxioRestore.exe** をダブルクリックします。  
リストア ウィンドウが表示されます。
- 5 リストアしたいファイルとフォルダーを選択します。
- 6 **復元** をクリックします。  
フォルダーを参照ウィンドウが開きます。
- 7 ファイルのコピー先を選択します。
- 8 **OK** をクリックします。

## コンピューター全体の復元

コンピューター全体のバックアップを作成している場合のみ、ハードディスクが故障した後も、コンピューターを完全に復元することができます。

コンピューター全体を復元するには、以下の手順を実行します。

- 1 ハードドライブのうち 1 台が損傷している場合、互換性のあるドライブと交換してください。新しいドライブは交換前のドライブの容量以上のものを選んでください。
- 2 コンピューター全体のバックアップ セットを用意してください。リカバリ ディスク、およびバックアップ ファイルを含むディスク、またはドライブが含まれます。
- 3 ディスクドライブにリカバリ ディスクを挿入します。
- 4 コンピューターを起動します。  
オンスクリーン アシスタントが開きます。
- 5 バックアップが外付けハードドライブに保存されている場合は、コンピューターに接続します。
- 6 アシスタントの指示に従います。

以下も参照してください：

- [オペレーティング システムのリストア](#)
- [ハードディスク、またはパーティションのリストア](#)
- [マイ データ のリストア](#)

[▶ ページのトップへ](#)

---

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

## オペレーティング システムの復元

オペレーティング システムの復元は、注意が必要な難しいプロセスです。問題が発生すると、コンピューターが正常に再起動しなくなることがあります。オペレーティング システムは他のパーティションに保存されているデータによって正常に動作していることも多いため、オペレーティング システムを復元する場合、コンピューター全体、またはハードドライブを復元することをおすすめします。コンピューター全体、オペレーティング システムを含むドライブ、またはドライブ パーティションを復元するには、[リカバリ ディスク](#)が必要です。

Windows オペレーティング システムを含むドライブ、またはドライブ パーティションを復元するには、以下の手順を実行します。

- 1 リカバリ ディスクを挿入し、コンピューターを再起動します。  
オンスクリーン アシスタントが開きます。
- 2 アシスタントの指示に従い、バックアップ ファイル、および復元したいドライブ、またはドライブ パーティションを選択します。

**注意:** BackOnTrack のバージョンによっては、オペレーティング システムを含むハードドライブ、またはドライブ パーティションをリストアできない場合があります。

### [▲ ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。





## ハードディスク、またはパーティションの復元

ハードドライブ、または個別のドライブ パーティションをリストアできます。ドライブとドライブ パーティションは全体がリストアされます。ハードドライブ、またはドライブのパーティションを復元する前に、バックアップ ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルがディスクに保存されている場合、ディスクを用意してください。ファイルがローカル、またはネットワークドライブに保存されている場合、同じ場所があり、アクセス可能かどうか確認してください。

**警告:** ドライブ、またはドライブ パーティションを復元する前に、他のアプリケーションやプロジェクトをすべて閉じてください。ドライブ、またはドライブ パーティションのリストアを開始したら、リストアが完了し、コンピューターを再起動するまで、ドライブのファイルを開いたり、ドライブにファイルを保存しないでください。

**注意:** オペレーティング システムを含むパーティションを復元するには、コンピューター全体の復元、またはハードディスクのリストアを使用することをおすすめします。多くの場合、オペレーティング システムは他のパーティションに保存されているデータによって正常に動作していません。

ハードディスクを復元するには、以下の手順を実行します。

- 1 **復元**をクリックします。
- 2 **ハードディスク**をクリックします。オンスクリーン アシスタントが開きます。
- 3 オンスクリーン アシスタントの指示に従って、復元するバックアップ、および保存先ドライブを選択します。
- 4 他のアプリケーションとプロジェクトをすべて閉じていることを確認してください。
- 5 **復元**をクリックして、バックアップ ファイルのリストアを開始します。

ドライブまたはドライブ パーティションを復元するには、以下の手順を実行します。

- 1 **復元**をクリックします。
- 2 **パーティション**をクリックします。オンスクリーン アシスタントが開きます。
- 3 オンスクリーン アシスタントの指示に従って、復元するバックアップ、および保存先ドライブを選択します。
- 4 他のアプリケーションとプロジェクトをすべて閉じていることを確認してください。
- 5 **復元**をクリックして、バックアップ ファイルのリストアを開始します。

以下も参照してください:

- [ハードドライブとドライブ パーティションの違いは？](#)

[▲ ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## システム ロールバックを使用して復元する

コンピューターに問題が発生した場合、システム ロールバックを使用して、選択した時点までコンピューターをロールバックします。Windows から、またはコンピューターを再起動する際、システム状態をロールバックすることができます。再起動する際のロールバックは、Windows が起動できない場合、特に便利です。

以下も参照してください：

- [Windows からコンピューターをロールバックする](#)
- [Windows が作動しない場合、ロールバックする](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## Windows からコンピューターをロールバックする

Windows からロールバックするか、またはコンピューターを再起動する際にロールバックするか、いずれかを選択できます。このトピックでは、Windows から保存済みのシステム状態にロールバックする方法について説明します。

コンピューターを Windows からロールバックするには：

- 1 開いているドキュメントをすべて保存して閉じます。
- 2 BackOnTrack 以外の起動しているアプリケーションをすべて閉じます。
- 3 必要に応じて、**リストア** タブをクリックします。
- 4 **システム ロールバック** ボタンをクリックします。コンピューターに現在保存されているシステム状態を示すウィンドウが開きます。
- 5 リストから任意のシステム状態を選択します。
- 6 **再起動してロールバック** をクリックします。
- 7 **はい** をクリックすると、システム ロールバックが開始されます。

以下も参照してください：

- [Windows が作動しない場合、ロールバックする](#)

[▲ ページのトップへ](#)

---

**メモ：**お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

## Windows が作動しない場合、ロールバックする

Windows がうまく起動しない場合、システムをロールバックしましょう。この方法なら、どんな状況でもすばやくコンピューターをロールバックできます。

コンピューターを Windows からロールバックするには:

- 1 コンピューターを再起動します。完全にクラッシュしている場合(「青いスクリーン」)、電源を一度切って、もう一度オンにすることによって再起動できます。ポータブル コンピューターの場合、バッテリーを一度外して、再度取り付けてください。
- 2 Windows がロードされる前に、Windows 起動マネージャー メニューから **Roxio システム ロールバック**を選択します。Windows 起動マネージャー メニューが自動的に表示されない場合は、Windows がロードされる前に F6 を押す方法もあります。

**注意:** 上記のオプションでもうまく行かない場合は、Windows のロードが始まる前に F8 を押して、高度な起動オプションを表示します。[**コンピューターを修復します**] を選択します。指示に従い、システム リカバリ オプション メニューで **Roxio BackOnTrack** をクリックします。

- 3 ドロップダウン メニューに一覧表示されている中から、任意のシステム状態を選択します。
- 4 **今すぐロールバック**をクリックします。
- 5 **はい**をクリックします。プロジェクトが正常に完了したことを通知するメッセージが表示されます。
- 6 [OK] をクリックして、コンピューターを再起動します。

 [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## システム ロールバックを元に戻す

システム ロールバック実行後の状態に納得できない場合は、元に戻すことができます。この操作により、ロールバックを実行する前のシステム状態にコンピューターを戻します。個人ファイルを誤ってドキュメント(または、マイドキュメント)やデスクトップ以外の場所にあるフォルダーに保管しており、回復操作中に削除されてしまった場合など、この機能が便利です。

**警告:** システム ロールバックを元に戻す場合は、ロールバックを実行して 3 日以内に必ず実行してください。

システム ロールバックを元に戻すには:

- 1 開いているドキュメントをすべて保存して閉じます。
- 2 起動しているアプリケーションをすべて閉じます。
- 3 コンピューターを再起動します。
- 4 Windows がロードされる前に、Windows 起動マネージャー メニューから **Roxio システム ロールバック** を選択します。Windows 起動マネージャー メニューが自動的に表示されない場合は、Windows がロードされる前に F6 を押す方法もあります。

**注意:** 上記のオプションでもうまく行かない場合は、Windows のロードが始まる前に F8 を押して、高度な起動オプションを表示します。[**コンピューターを修復します**] を選択します。指示に従い、システム リカバリ オプション メニューで **Roxio BackOnTrack** をクリックします。

- 5 最新のロールバック操作を元に戻すには、**いいえ** をクリックします。
- 6 オペレーティング システムやアプリケーションを以前の状態にロールバックする場合は、**はい** をクリックします。
- 7 [OK] をクリックして、コンピューターを再起動します。

[▶ ページのトップへ](#)

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

**ROXIO**

## BackOnTrack

### ツール

BackOnTrack のツール メニューから、アプリケーションの重要な機能にアクセスできます。以下のリンクをクリックして詳細を表示します。

- [保存済み状態を手動で作成する](#)
- [リカバリ ディスクを作成する](#)
- [バックアップ セットを検証する](#)
- [ディスク スペースを管理する](#)

**注意:** ツールのリストは、アプリケーションのバージョンによって異なる場合があります。

#### [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## 保存済み状態を手動で作成する

保存済み状態は好きな時に作成できます。

保存済み状態を手動で作成するには:

- 1 コンピューターが正常に動作し、ウイルスに感染していないことを確認してください。徹底的なウイルススキャンの実行をおすすめします。
- 2 ツール> **今すぐシステム ロールバック状態を保存** をクリックします。
- 3 システム状態の作成が正常に完了すれば、**OK** をクリックします。

[▲ ページのトップへ](#)

---

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## リカバリ ディスクを作成する

Windows には特殊な起動条件があります。特定のファイルを探し、コンピューターに関する情報を収集します。通常、これらのファイルはハードドライブにあり、Windows はファイルの場所を認識していません。

クラッシュの発生後、コンピューターのオペレーティング システムを始動、または **起動**するには、必要なスタートアップ ファイルがすべて含まれる特殊なディスクが必要になります。このディスクを **リカバリ ディスク**、または **リカバリ起動ディスク**と呼びます。コンピューター全体の復元、またはコンピューターのオペレーティング システムを含むドライブ、またはドライブ パーティションをリストアするには、リカバリ ディスクが必要です。コンピューター全体のバックアップを実行すると、リカバリ ディスクが作成されます。または、ツール メニューからリカバリ ディスクを作成する方法もあります。

リカバリ ディスクを作成するには：

- 1 **ツール > 起動可能リカバリ ディスクを作成**をクリックします。
- 2 オプティカル ディスクドライブを選択して、CD-R または DVD-R などの書き込み可能ディスクを挿入してください。
- 3 **OK** をクリックします。コンピューターがディスクにファイルの書き込みを開始します。
- 4 リカバリ ディスクの作成が正常に完了すれば、**OK** をクリックします。ディスクにラベルを貼り、安全な場所に保管します。

[▶ ページのトップへ](#)

---

**メモ:**お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.



## バックアップ セットを検証する

検証ツールを使用すれば、バックアップ ディスクの書き込み中にエラーが発生しなかったかどうかを確認することができます。

バックアップ セットを検証するには:

- 1 ツール > **バックアップ セットを検証**をクリックします。
- 2 オプティカルドライブを選択し、バックアップ セットの最後のディスクを挿入します。
- 3 **OK** をクリックします。検証プロセスが開始されます。

 [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## ディスク スペースを管理する

ディスク スペースが少なくなってくると、バックアップ ディスク スペースの管理ツールを使用して、古いバックアップや保存済み状態を削除することができます。プログラムを設定して、ワンクリック バックアップのシステム ロールバック設定を使用して、特定の保存済み状態を自動的に削除することもできます。[システム ロールバック設定](#)を参照してください。

**注意:** 最新の保存済み状態は削除できません。

ディスク スペースを管理するには:

- 1 ツール > **バックアップ セットの削除ツールを起動**をクリックします。ダイアログ ウィンドウが開きます。
- 2 ドロップダウン メニューを使用して、バックアップまたは保存済みシステム状態を保存する場所やボリュームを選択します。
- 3 **バックアップの内容**ドロップダウン メニューを使用して、削除対象のバックアップ、または保存済みシステム状態を選択します。特定の保存済み状態は、**時刻**ドロップダウン メニューに一覧表示されます。
- 4 **削除**をクリックします。

[▶ ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## ユーザー補助

プログラムの各機能は、マウスを使わずにキーボードからアクセスできます。このアプリケーションでは、標準の Microsoft ナビゲーション技法とキーボード ショートカットが使用されています。

以下のトピックに関する情報を表示します：

- [キーボードを使用してナビゲートする](#)
- [キーボード ショートカットを使用する](#)
- [ヘルプ センターのフォント サイズを変更する](#)

 [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## BackOnTrack

# キーボードを使用してナビゲートする

一般に、キーボードによる画面のナビゲーションでは、機能間を移動する場合は **Tab** キーを、機能内のオプションを選択する場合は矢印キーを、選択を起動する場合は **Enter** キーを使用します。

画面上でアクティブになっている領域は、破線の長方形で囲まれます。**Tab** を押して、この長方形を移動して次の領域をアクティブにします。

**ヒント:** 逆方向にタブ移動する場合は、**Shift** キーを押したまま **Tab** キーを押します。これによって画面のひとつ前の領域に簡単に戻ることができます。

### ページのトップへ

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

## キーボード ショートカットを使用する

標準のショートカット キー（「アクセラレータ キー」または「ホット キー」とも呼ばれる）システムを利用すると、プログラム内の多くの機能にアクセスできます。

キーボードからプログラムの機能を起動するには、以下の手順を実行します。

- 1 すべての機能、メニュー項目、およびプログラム オプションの横には、括弧で囲まれた下線付きの文字が表示されています。これはその項目のショートカット キーです。下線が表示されていない場合には、**Alt** を押します。
- 2 **Alt** を押したままキーボード上でその文字（アクセスする項目の横に表示されている下線付きの文字）を押します。たとえば、ほとんどの Windows ベースのアプリケーションでは、新しいファイルを作成する場合、**Alt、F、N** を押します。

以下の表に標準的な Microsoft Windows のキーボード ショートカットの一部を列挙します。Roxio の各コンポーネントでは、これらのショートカットのほとんどを使用することができます。

目的	使用するキー
プロジェクトまたは操作をキャンセル	<b>Esc</b>
ヘルプ センターを開く	<b>F1</b>
マウス クリックに相当する操作	Tab と矢印キーを使用して使用したい機能、またはメニュー項目をアクティブにし、 <b>Enter</b> を押します。
マウスの右クリックに相当する操作	Tab と矢印キーを使用して使用したい機能またはメニュー項目をアクティブにし、 <b>Shift + F10</b> を押します。
スタート メニューを開く	Windows のロゴ キー
Windows エクスプローラーを開く	Windows のロゴ キー + <b>E</b>
選択した項目をリサイクル ボックスに移動する	<b>削除</b>
すべての項目を選択	<b>Ctrl + A</b>
選択した項目をコピー	<b>Ctrl + C</b>
選択した項目を切り取り	<b>Ctrl + X</b>
選択した項目を貼り付け	<b>Ctrl + V</b>
選択した項目を削除	<b>Ctrl + D</b>
現在のファイルを印刷	<b>Ctrl + P</b>
新しいファイルを開く	<b>Ctrl + N</b>
現在のファイルを保存	<b>Ctrl + S</b>
ファイルを開く	<b>Ctrl + O</b>
選択した項目のプロパティを表示	<b>Ctrl + R</b>
最後に行った操作を元に戻す	<b>Ctrl + Z</b>
最後に行った操作をやり直す	<b>Ctrl + Y</b>
選択範囲を反転	<b>Ctrl + I</b>
アプリケーションを終了	<b>Alt + F4</b>

## ヘルプ センターのフォント サイズを変更する

ヘルプ センターのフォント サイズを変更するには、以下の手順を実行します。

- 1 ヘルプ センターが開いている場合には、右上角の閉じるボタンをクリックするか、**Alt + F4** を押して、ヘルプ センターを閉じます。
- 2 Internet Explorer を開きます。
- 3 **表示 > 文字のサイズ**を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。
  - 最大
  - 大
  - 中
  - 小
  - 最小
- 4 ヘルプ センターを開きます。  
手順 3 で選択したテキスト サイズのオプションに基づいてテキストが表示されます。

**注意:** Internet Explorer で表示メニューが見えない場合は、**Alt** キーを押してください。

 [ページのトップへ](#)

---

**メモ:** お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、[www.roxio.com](http://www.roxio.com) をご覧ください。

---

**ROXIO**

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.